

コース名		科目名				対象学年		
人体の構造と機能 I		泌尿器・生殖器				1		
開講学期		科目責任者		副責任者				
2 学期		樋田 一徳		横西 哲広				
目的								
体液の恒常性に関わる腎・泌尿器と、配偶子を産生する生殖器の構造と機能を理解する。								
授業到達目標								
<p>予め配付する講義録をもとに、受講（講義と実習）と自己学習（教科書熟読・グループ学習）による自学自修をバランスよく実行できるようにする。具体的内容としては、下記の事項を説明できることを目標とする。</p> <p>泌尿器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。 2. 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配、腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。 3. 腎系球体における濾過の機序、及び尿管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。 4. 水電解質・酸塩基平衡の調節機構を概説できる。 5. 腎に作用するホルモン・血管作働性物質の作用を説明できる。 6. 蓄排尿の機序を説明できる。 <p>生殖器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 2. 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 3. 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 4. 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 5. 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 6. 生殖腺の発生と性分化の過程、及び男性・女性生殖器の発育の過程を概説できる。 								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	10/31	木	2	講義	山西	解剖	泌尿器系の構造(1): 腎臓と尿路系の概説 泌尿器系の構造(2): 腎臓の組織	PS-02-09-01
2	10/31	木	3	講義	山西	解剖	泌尿器系の構造(3): 尿路系の組織	PS-02-09-01
3	11/ 7	木	2	講義	山西	解剖	泌尿器系の構造(4): 腎臓と尿路系の組織	PS-02-09-01
4	11/ 7	木	3	講義	横西	解剖	男性生殖器(1): 構造	PS-02-10-01
5	11/14	木	1	講義	横西	解剖	男性生殖器(2): 組織	PS-02-10-01
6	11/14	木	2	講義	横西	解剖	女性生殖器(1): 卵巣、卵管	PS-02-10-01
7	11/14	木	3	講義	横西	解剖	女性生殖器(2): 子宮、膣、外陰	PS-02-10-01
8	11/15	金	1	講義	横西	解剖	女性生殖器(3): 乳腺・生殖器の発生 生殖工学の最先端	PS-01-02-16, PS-02-10-01 PS-02-13-01
9	11/15	金	2	講義	岩本高	乳甲外	女性生殖器(4): 乳腺	PS-02-13-01
10	11/15	金	3	講義	角谷	総合老年医学	泌尿器系の機能(1): 腎臓の機能と臨床	PS-02-09-01
11	11/21	木	4	講義	清水真	泌尿器	男性生殖器(3): 性分化と機能	PS-02-10-01
12	11/21	木	5	講義	下屋	産婦	女性生殖器(5): 機能と臨床	PS-02-10-01
13	11/22	金	4	講義	毛利聡	生理 1	泌尿器系の機能(2): 血圧調節	PS-02-09-01
14	11/27	水	1	講義	毛利聡	生理 1	泌尿器系の機能(3): 体液調節	PS-02-09-01
	11/29	金	2	講義末試験			講義末試験	
15	11/29	金	3	講義	横西	解剖	泌尿器・生殖器まとめ	PS-02-09-01, PS-02-10-01

評価方法
<p>[講義末試験]90% (筆記試験にて行う。)</p> <p>[出席状況 (受講態度)]10% (出席状況と受講態度を重視し、段階的に評価する。)</p> <p>[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価、実習態度評価</p>
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて
<p>試験直後の講義では、試験内容の解説を行う。</p>
教科書
<p>ISBN-9784784931811, カラー図解人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 第4版, 坂井建雄, 河原克雅総編集, 日本医事新報社, 2021/01</p> <p>ISBN-9784260041324, 標準組織学 各論 第6版, 藤田尚男, 藤田恒夫原著 ; 岩永敏彦, 渡部剛改訂, 医学書院, 2022/03</p> <p>ISBN-9784524260041, diFiore 人体組織図譜 原著第11版, V. P. Eroschenko, 相磯貞和 (翻訳), 南江堂, 2011/04/27</p>
参考書
<p>ISBN-9784263731468, カラーアトラス機能組織学 原著第2版, Jeffrey B. Kerr, 河田 光博 (監訳), 小路 武彦 (監訳), 医歯薬出版, 2013/01/10</p> <p>ISBN-9784890133086, 最新カラー 組織学, L.P. ガートナー, 井上 貴央 (監修), Leslie P. Gartner (原著), James L. Hiatt (原著), 西村書店, 2003/05/01</p> <p>ISBN-9784758300889, 解剖学 (カラーイラストで学ぶ 集中講義), 坂井 建雄 (編集), メジカルビュー社, 2012/03/30</p> <p>ISBN-9784260034296, 標準生理学 (Standard textbook), 本間 研一 (監修), 医学書院, 2019/03</p> <p>ISBN-9784890134823, カラー ポケット組織学, リサ・M・J・リー (著/文), 樋田 一徳 (監訳), 西村書店, 2018/03/01</p>
準備学習 (予習・復習等)
<p>講義の全内容は講義録としてまとめ、随時、授業開始前にアップロードする。予習・復習は不可欠で、講義録をもとに、講義前日までの予習、講義当日の復習は必ず行うこと。学習法は講義・実習で教示する。教科書「人体の正常構造と機能 (全10巻縮刷版)」・第5章：腎・泌尿器、第6章：生殖器を熟読し、予習・復習することが特に重要である。1日の講義・実習に対して、予習・復習にそれぞれ60分程度必要である。</p>
講義についての注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の構造を自らの身体と生命現象を参考に理解してほしい。覚えることばかりに拘らず、人体に興味を持ち、生命の不思議を考えてほしい。 2. 限られた時間で人体構造の概要を概説するので、予め配付する講義録をもとに、各自のメモ、ノートを加えて自分なりの学習法を身につけよう。 3. 質問、学習方法等気軽に相談してほしい。連絡は、1) 教員秘書カウンターを通して連絡 (下記オフィスアワー)、あるいは 2) メールで連絡する。いずれもまず科目責任者 (樋田) に連絡する。
昨年度からの変更点・改善項目
<p>授業内容から実習を外し、「組織学実習」として独立した科目とした。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
<p>本科履修には高校理科・英語等の基礎学力が必要である。基礎医学を深く理解するための科目であり、2年次に学ぶ「病因と病態」や「生体と薬物」、3年次に引き続き履修する「腎・尿路系」、「性腺・生殖器」や「女性内分泌・妊娠」の土台を形成する学問である。</p>
ナンバリング
<p>BLUR118</p>